
beyond the seventh bridge

ぱる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

beyond the seventh bridge

【Nコード】

N1114Z

【作者名】

ばる

【あらすじ】

そこは要塞都市キューウエル。

傭兵のジルはそこで平穏な日常を過ごす筈だった。

ああ、何て美しい人だろう。

真正正銘の姫君だ。居るんだなこんな絵に描いたような皇族の姫君…。

まさかその出会いが波乱の始まりだったなんて思いも寄らなかった。

うっかり腹黒い人物に弱みを握られ、それでも健気に任務を全うす

るジルの明日はどっちだ？

要塞キューエルを舞台に傭兵ジルと姫君Wと周囲の人々を巻き込んだ、波乱の日々を描きます。

01 (前書き)

こちらでの初投稿です。 >br<
色々試しながらボチボチやって行きます m) | (m

切り立った崖に吹き上げる風が頬を颯る。
空には遠く猛禽の滑空が霞んで見える。

要壁の乾いた石畳を靴音を響かせて行くと、その女性は呼び掛けるまでもなく振り向いた。

要壁の向こうを眺めて居た視線がゆっくりと此方を捉える。

ああ、何て美しい人だろう。

ひたと鉢合わせた視線を外せずに某然と見詰め返してしまう。

背は自分と同じ位だろうか、濃紺のビロードに金の刺繍を施したドレスを纏い背筋の伸びたその佇まいは育ちの良さを現していた。

殆ど色味のない白金の様な麗髪。

汚れのない白い頬に珊瑚のように淡い紅色の唇。

瞳は灰色掛った冴えた蒼。

真正正銘の姫君だ。居るんだな、こんな絵に描いたような皇族の姫君……

「あなたが私の護衛？」

不躰なまでに見詰めて居たら、思わぬ具合に不機嫌そうな、少しハスキーな声が響いた。

我に帰って慌てて跪く。

「大変失礼致しました。私が姫君の護衛に当たります赤北軍指揮官付き部隊長ジル・ウイケッドと申します。以後よろしくお願い申し上げます。」

「要らないわ。軍の護衛なんて。腕の立つ侍従を連れて居るし、何よりもあなたは正規軍ではないでしょう？選りによってどうして傭兵なんかを護衛につけるのよ。」

挨拶もそこそこに、麗しの唇から拒絶の言葉が紡ぎ出される。
けれどそんな事は慣れていた。

正規軍でない傭兵の身分では身につける衣装がまるで違うのだ。この要塞ではこの歳にして古株の自分だが、正規軍になれないのは理由がある。

これまでに何度もその事で辱めを受けてきたのだ、今更驚きはしない。

相手が生粋の皇族なら尚更だろう。

我知らず口元に笑みが浮かぶ。

だからと言って荒んでいる訳ではない。

傭兵の身分のままにして部隊長を務める自分の経歴に自負もあるのだ。

「申し訳ございません。私もこれが任務にてお言葉に従う事はできません。何卒ご容赦くださいませ。」

それだけ言つと反論の間を与えずに姫君の背後へ回り込んで控える。視線で追われている事は重々承知の上だ。

「私は殿方が嫌いなよ。それにあなたみたいな若輩の護衛なんて役に立たないわ。身近に居ると思うだけで寒気がするの。」

追い討ちをかけるように言葉が追ってきたが、笑顔のまま首を振る。「その事でしたらご心配には及びません。私の事は居ないものと思つて下さつて構いませんし、そうであれば尚更、私以上に姫君の護衛に適した者は他に居りません。また皇族の方に護衛を付けぬような事はこの要塞ではあり得ませんので、どうかご辛抱を。」

最後の言葉が一番効いたのだろう、姫君はむすつと口を引き結ぶと黙り込んだ。

そんな仕草も絵になるなどと感心していたら、其処へ甲高い声が響いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1114z/>

beyond the seventh bridge

2011年12月4日03時02分発行